生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います。

まほろば

Hirosaki National Hospital

2018.6
第202号

看護の日イベント開催　～弘前病院からまごころを届けます～

「看護の日」は、看護の心、ケアの心、助け合いの心を育むきっかけになるよう、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、５月１２日に制定されました。当院では毎年、看護の日に合わせ、患者さんや地域の方々に向けてイベントを企画しています。

今年は５月１１日に「弘前病院から真心を届けます」をキャッチコピーとし看護の日イベントを開催しました。第一部は当院呼吸器科の田中佳人医師による「肺炎予防について」の健康講話を行い約４０名の参加者がありました。肺炎球菌ワクチン開始に至る経緯とワクチン接種の考え方についてのお話を聞くことができ、参加者の方々から「肺炎ワクチンの勉強ができてためになった」というお言葉をいただきました。第二部は、アンサンブル Y’S、の方々をお招きし「おとなの童謡」と題したイブニングコンサートを開催しました。歌い継がれてきた心に沁みる童謡を現代風のアレンジで１０曲披露してくださいました。美しいハーモニーが玄関ホールに響き渡り、来場者の方は引き込まれるように聞き入っていました。最後の曲「故郷」は全員で合唱しました。患者さんから「懐かしい曲ばかりで楽しかった」「歌声に迫力があった」というお言葉をいただき、和やかな雰囲気のなか、ゆっくり楽しんでいただけたと思います。

入院されている患者さん、外来を訪れる患者さんに、常に優しさと真心をこめて看護していかなければなりません。この看護の日イベントはその思いを再認識する日となりました。これらの企画を「楽しみにしていた」という患者さんのお声を励みとし、日頃から期待される看護とは何か考え続け、看護の質の向上に努めてまいります。

外来Ａ副看護師長：太田　幸子

病院見学・体験会で看護学生を迎えて

５月１２日土曜日、看護学生対象の病院見学・体験会がありました。手術室では、急性期（外科系）体験コース６名の受け入れをしました。私は高校生の時に看護師を目指そうと考え、病院説明会に参加したことがあります。その時は、病棟の見学や患者様への足浴体験などを行いました。私は手術室看護師として、学生さん達には事例を通して入室から手術開始、帰室までの一連の流れを体験してもらい、緊迫した中でも患者様の不安な気持ちに寄り添いながら患者様の安全を守る手術室で働くことの楽しさを少しでも感じてもらえたらと思い企画しました。実際に手術室の中に入り、鉗子などの器械に触れ、手洗いをしてガウンを着るという体験をしました。テレビで見る手術室のイメージとつながる部分があり楽しかったようでした。私が病棟で勤務していた時は、実際に手術室の中までは入ったことはなく、手術室で勤務するようになってから初めて見たり触ったりすることがたくさんありました。今回、学生の時から実際に手術室体験をし、手術室の看護に興味を持ってもらい、就職施設を選ぶ際の、選択肢の一つとして考えていただけたら嬉しく思います。

手術室　看護師：関　あずさ

緊急帝王切開時のシミュレーション

平成 30 年 4 月 25 日、中央手術室と母子医療センター合同で、緊急帝王切開を想定してのシミュレーションを行いました。当院は地域周産期母子医療センターとして、近隣の産科医院や西北五地区・秋田県大館方面からもハイリスク妊婦の受け入れを行っており、時には緊急で帝王切開をしなければならない場合があります。母と子の命を守るため、医師や病棟の助産師・看護師、手術室看護師、当直師長や検査科など、各職種の連携は不可欠であり、いざという時に迅速に対応できるよう、今回で 2 回目の合同学習会開催となりました。

妊婦や胎児の急変は一刻を争う場合があり、急変→帝王切開決定→手術室入室の流れを、実際に各担当スタッフがシミュレーションすることで、手術決定から 10 分以内での手術室入室し、２０分以内に胎児娩出を目指しています。夜間はスタッフの数も限られており、連絡系統や移送の手順・入室後の的確な役割分担が必要になります。少しでも時間的な無駄がなく、重複した動きをしないよう、実際に声を出し合いながら入念に確認しました。

急変の際は、誰もが動揺し焦りが生じるものです。母と子の命を守るために、落ち着いて冷静に判断し行動ができるよう、シミュレーションやトレーニングを重ねていきたいと考えております。

母子医療センター看護師長：長尾　愛佳

看護学校防災訓練

平成 30 年 5 月 29 日、看護学校にて防災訓練が行われました。今年度は消火器や排煙・防火扉など学校内の消防設備、火災発生時の対応について学びました。

火災が発生した際は、非常ベルが鳴ったら、火元を確認した後、周囲に安全に避難できるように声をかけたり、消火活動を行っていく必要があることを学びました。また、消火活動や周囲に避難指示を出すためには、自分たち自身が消火器・消防設備、避難口がどこにあるのかをしっかり把握し、火災発生時に適切な対応を行っていくことが大切であると学びました。火災が発生すると、混乱して、落ち着いて対応することが難しくなる可能性が考えられますが、今回の避難訓練を通して、器具の使用方法や対応について知っておくことは少しでも冷静な判断をすることにつながると学びました。

今回の避難訓練で学んだことを振り返り、日ごろから防災への意識を高めていきたいです。

64 回生(3 学年)：鳴海　美侑

研修医便り

研修医 1 年目の伊賀千紘です。出身は三重県？忍者？とよく聞かれますが、両親ともに青森県の生まれなので、純青森産の広島育ちです。4 月、5 月は、血液内科の山口先生からご指導頂きました。書類作成など基本的な事から教えて下さり、ルート確保やマルク、CV も経験できました。病状説明にも同席し、どんな風にお話をして、関係を築いていくのか、近くで学ばせて頂きました。丁寧に教えて下さり、ありがとうございました。6 月は消化器内科で研修しますので、今月も 6 階病棟の皆さま、よろしくお願いします。

大学ではゴルフ部で活動していました。ゴルフ女子が増えるのを待っています。中高バスケ部でしたが、捻挫癖があるので跳んだり走ったりしない部活に入りました。そのため、あまり体力のない研修医ですが、栄養ドリンクと共に頑張ります。

至らないところばかりですが、多くの経験を積み、成長したいと思います。ご指導よろしくお願い致します。

臨床研修医：伊賀　千紘

外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表　（2018年６月１日現在）

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	横田貴志	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		山本勝丸	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子
		下山亜矢子	田中佳人	田中佳人	－	田中佳人
		－	石岡佳子	－	－	－
消化器・血液内科		松木明彦	相原智之	相原智之	松木明彦	相原智之
		山口公平	山口公平	松木明彦	山口公平	山口公平
		佐藤年信	千葉裕樹	佐藤年信	安田耕平	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	千葉裕樹	石黒陽	石黒陽
小児科		杉本和彦	佐藤工	敦賀和志	佐藤工	杉本和彦
		敦賀和志	梅津英典	佐藤啓	梅津英典	佐藤啓
		遅野井香純	－	－	－	遅野井香純
外科		柴田滋	山名大輔	柴田滋	山名大輔	三上勝也
乳腺外科		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅
整形外科	午前	佐々木規博	秋元博之	秋元博之	藤田有紀 受付10時まで	秋元博之
		飯尾浩平	飯尾浩平	佐々木規博		佐々木規博
		藤田有紀	太田聖也	藤田有紀		飯尾浩平
脳神経外科		－	－	木村正英	－	－
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
		佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
	午後	● 予約	● 手術／検査	● 予約	● 手術／検査	● 予約
泌尿器科	午前	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		飯野香理	丹藤伴江	丹藤伴江	● 妊婦健診 （一般外来休診）	飯野香理
		松村由紀子	小玉都萌	松村由紀子		石原佳奈
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		西澤尚徳	西澤尚徳	休診	西澤尚徳	西澤尚徳
		後藤真一	山内一崇	－	－	－
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	－	－	川口英夫 （午後）	－	川口英夫 （午後）
女性専用外来		杉本菜穂子（※予約制／第１・第３水曜日午後診療）				
セカンドオピニオン		－	－	－	休診	－

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。
※ セカンドオピニオン外来は当分の間休診となります。

今月の川柳

★川柳募集★　あなたの川柳をお待ちしています。

カーテンを　あけて話せば　ほら笑顔　(柴又)

窓の外　今日も暮れゆく　津軽富士　(だいげん君)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

お知らせ

患者相談窓口

『患者相談室』のＭＳＷ（メディカルソーシャルワーカー）が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元

Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構 弘前病院

責任者：副院長　小田桐　弘　毅

〒036-8545　弘前市大字富野町１番地
ＴＥＬ０１７２－３２－４３１１
ＦＡＸ０１７２－３３－８６１４
ＵＲＬ　http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/